

## 平成25年度 宝塚いくせい会 事業報告

社会福祉法人宝塚いくせい会は、社団法人宝塚市手をつなぐ育成会を設立母体として、事業移譲を受け、障害福祉サービス事業の運営を推進しています。

平成25年度は、事業の2期目を迎え、施設・環境の整備をはじめ利用者を尊重し、利用者の立場に立ったよりよいサービスの提供を心がけ、サービスの質の向上を図るため職員の意識の向上を目指した研修の強化等に取り組みました。

### I 事業報告

#### 1 宝塚育成事業所（多機能型就労継続支援 A・B型事業）

利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、通所による就労の場を提供するとともに、個別支援計画に基づき就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の支援を適切に行いました。あわせて、利用者の意思及び人格を尊重し、地域や家族その他の社会資源との結びつきを重視した事業運営に努めました。

##### (1) 定員の増員等について

就労継続支援 A 型利用者の高齢化による退職や B 型への移行などに伴い、A 型、B 型ともに受入定員の見直しを行った結果、B 型において定員超過が見込まれることから、A 型は 10 人現状のままに、B 型は 10 人を 15 人に、事業所全体の定員を 20 人から 25 人に変更しました。

利用者の受入れに当たっては、実習を行い、仕事に対する意欲、スキル等を勘案し A 型へ他の施設から 1 人、一般就労から 2 人が利用を開始し、12 人が在籍しています。

B 型へは A 型から 1 人移行、他の施設から 1 人が利用を開始し、16 人が在籍しています。

また、25 年度当初に賃金体系を見直し、A 型においては、最低賃金適用利用者を 1 人増にし、2 人に最低賃金を保障するとともに、他の利用者の最低賃金除外率をそれぞれ 1～5% 下げることにより、平均賃金 70,120 円となり前年に比べ全体で約 7.2% の賃金の向上を図りました。

B 型においても、工賃向上計画を達成するために工賃体系の細分化を行い、平均約 14.3% の工賃改定により、平均工賃 35,438 円と A 型と同様に工賃向上を図りました。

A 型、B 型あわせて新規利用者が約 20% を占め、一般就労から U ターンした利用者などからお互いに刺激を受けたりすることにより、スキルアップが図られ、下請け加工、消毒等の作業効率が向上し、生産性が大きく伸びています。今後も利用者一人ひとりの作業量、作業結果、取組み姿勢等十分考慮し、就労意欲の向上と働く喜びを感じるとともに、地域で自立した社会生活を支える経済的自立が図れるようより一層の収益確保を図りながら、賃金等の向上を図つ

ていきたいと考えています。

①月別平均利用人数（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A	9	10	10	10	10	11	11	12	12	12	12	12
B	14.9	14.3	14.9	13.9	15	13.9	14.3	14.2	14.8	14.4	14.9	14.6

②定員等

	定員	契約 人数	平均利 用人数	平均賃金 (工賃)		最低賃金	目標 工賃 (時間給)
				時間給	月額		
A型	10人	9人	10人	545円	65,413	適用1人 除外9人	
	10人	12人	12人	584円	70,120	適用2人 除外10人	
B型	10人	14人	11.3人	258円	31,000		229円
	15人	16人	14.5人	295円	35,438		28,000

※定員、契約人数は平成26年3月31日現在

①上段は、平成24年度、下段は平成25年度を表す。

②A型は、9月、11月にそれぞれ1人利用開始

(2) 人員配置について

就労支援事業において、介護福祉用具貸与事業は、平成24年度に比較し約4%の収益増となり、地域の介護保険事業者や地域の方々からの理解と支援を受けながら、堅実に収益の確保を図ることができています。恒常的に収益増を図っていくには福祉用具の動静を見極めながら、地域の要望にきめ細かく対応し、丁寧で相手の立場に立った営業活動を行うことがなにより大切なことであることから、嘱託職員から正規職員への登用を行い、営業活動を充実しています。

また、支援においては、定員増及び新規利用者の増に伴って、利用者間で不安定になる関係性などに十分配慮するため、ケース会議等の開催やスーパーバイザーからの助言を受け、職員全員が利用者の課題を共有し、個別支援の対応がとれるような体制に努めています。

### ①職員配置

	正規職員（嘱託含む）	臨時職員	合計
管理者	1		1
サービス管理者	1		1
生活支援員	2		2
職業指導員		2	2
就労指導員	3	1	4
事務職員	1	1	2
計	8	4	12

### （3）作業環境の整備等について

利用者定員の増の結果、1日当たりの利用者数が平均26人を超える状況の中で、作業環境の安全性と快適性、作業能率の向上のために、平成24年度決算で積立てた設備等整備資金積立金を取り崩し、福祉機器及び消毒済み福祉機器の保管場所として2階建倉庫を新設しました。福祉機器等の移動により2階の作業室が、下請け受託場所として工程別又は品目別等効率的な加工ができるように配置変更ができたことによって、作業がしやすく、かつ支援がしやすい環境を整えました。また、利用者の要望を反映しながら利用者の休養スペースとして図書の設定等を行い、環境整備に努めました。

さらに、福祉機器レンタル比率を下げ、自社保有率を上げ収益増を目指すため、平成26年度からの消費税増税を見込み、ベッド及び車いす等の設備先行投資を行いました。

### （4）生産活動

#### ①就労継続支援 A 型

○介護保険指定事業者として、介護福祉機器のレンタル、販売

#### ②就労継続支援 B 型

○受託事業

- ・下の池公園維持管理事業
- ・鳥島団地公園清掃
- ・贈答用品箱詰等下請け
- ・宝塚牛乳プリン用ゴム下請け
- ・車いす等消毒
- ・福祉施設車いす等消毒
- ・その他自治会等用具運搬等
- ・内部外注受託（A型からB型へのベッド等消毒受託）

○介護保険対象外福祉機器の消毒、運搬、レンタル、販売

(5) その他活動

①実習の実施

一般就労からの移行希望者の募集に伴い、順次実習を実施し、仕事のスキル等の把握、利用者の希望等総合的に勘案し、順次受入を行いました。

実習受入 3人

こやの里特別支援学校高等部2年生職場実習受入 1人

②就労継続支援A型の利用者の募集をハローワークを通じて行いました。

平成25年9月から1人、11月から1人利用決定

③利用者健康診断 年1回実施

④利用者親睦旅行(長島スパランド) 1泊2日 年1回

ハッピーディ年3回 忘年会その他行事実施

2 短期入所

(1) 定員増について

ENJOYハウス及び安倉ホームとも施設受入可能な人数に定員を変更し、ENJOYハウスは6人を7人に、安倉ホームは6人を8人に変更し、利用希望のニーズや緊急受入に対応しました。

(2) ENJOYハウス

将来の自立した地域生活を目指すため、家庭以外で宿泊を経験する場として個別支援計画に基づきサービスを提供しました。

(3) 安倉ホーム

ENJOYハウスの宿泊を一定期間経験したのち、ケアホームへの移行を前提として、計画的に連泊経験を重ねる場として個別支援計画に基づきサービスを提供しました。

また、ENJOYハウス、安倉ホームとも、居宅において利用者の介護を行う者の疾病等その他緊急の理由により短期入所の利用を必要とする者に対して、サービスの提供を行いました。(1人)

①月別平均利用人数及び利用実人数（単位：人）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
ENJOY ハウス	5.5	5.3	5.6	5.5	5.4	5.6	5.3	5.3	5.2	5.1	5.6	5.7	5.4
	105	112	118	115	108	106	117	111	99	92	107	114	1,304
	5.8	5.4	5.9	5.6	6.4	6.2	6.0	5.9	6.3	6.3	6.4	6.6	6.0
	110	113	117	123	109	118	131	117	120	120	122	131	1,431 86.3%
安倉 ホーム	5.7	6.0	5.0	5.3	5.6	5.5	5.5	5.3	5.5	5.7	5.9	5.9	5.6
	108	121	105	111	112	104	121	112	105	103	113	118	1,333
	6.1	6.3	6.1	6.3	6.4	6.3	5.9	6.1	6.2	6.0	6.2	6.4	6.2
	121	133	122	139	109	120	130	122	118	114	117	127	1,472 77.3%

※各施設毎上段2段は、平成24年度、下段2段は平成25年度を表す。

②定員等

	定員	契約人数	一人月平均利用日数
ENJOYハウス	7人	60人	2.4日
安倉ホーム	8人	30人	4.6日

※定員、契約人数は平成26年3月末現在

③職員配置

	ENJOYハウス		安倉ホーム		計	
	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員	正規職員	臨時職員
管理者	1		1		2	
生活支援員	3		2	1	5	1
調理員				2		2
計	3		2	3	7	3

※ 管理者は、生活支援員を兼務のため、生活支援員に再計上

(4) 利用状況

- ①ENJOYハウスから安倉ホームへ移動した利用者7人
- ②安倉ホーム新規利用者 2人
- ③ENJOYハウス新規利用者 6人
- ④安倉ホームからケアホームへ移動した利用者3人

⑤ケアホーム移行者の宿泊訓練実施 3人（8，9月）

3 日中一時支援事業

学校放課後及び施設利用後の日中における活動の場を提供し、障害児・者の家族の就労支援や日常的に障害者・児を介護している家族の一時的な休息の場を提供しました。また、学校長期休業期間中の日中における活動の場を提供しました。

(1) 月別利用人数及び平均利用人数（単位：人）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
学齢	37	20	22	38	43	18	20	21	39	24	18	37	337
成人	18	18	19	22	15	20	21	21	22	22	20	23	241
計	55	38	41	60	58	38	41	42	61	46	38	60	578
月平均利用人数	11.3	9.6	9.3	10.9	11.5	9.6	9.8	8.5	11.4	10.5	10.1	11.2	10.3
学齢	38	16	19	34	39	20	15	16	34	33	18	38	320
成人	22	23	24	25	20	23	22	22	26	24	24	26	281
計	60	39	43	59	59	43	37	38	60	57	42	64	601
月平均利用人数	10.6	9.9	9.9	13.3	15.4	10	9.6	9.7	11.5	11.9	10.9	12.9	11.3

上段は、平成24年度、下段は平成25年度を表す。

(2) 定員等及び職員配置

定員	契約人数		正規職員	臨時職員	計
		管理者	1（事業統括兼務）		
15人	88人	サービス管理者	1		1
		生活支援員	2	8	10

※サービス管理者は生活支援員兼務、生活支援員に再計上

※定員、契約人数は平成26年3月末日現在

(3) 事業運営

長期学校休業中（ミッキー）の場合も、定期的に日中一時利用者の利用希望に応え、16時以降成人の一時支援事業受入可能な範囲で実施しました。

保護者の病気等緊急による休業日等の利用 3人

II 法人の基盤の確立と運営の安定化

1 会計基準

平成24年度から社会福祉法人新会計基準を導入し、田中税理士事務所と顧問契約を締結し、新会計基準に基づき会計の明確化と適切な経理事務の執行に努める

とともに、HP等で情報公開に努めています。

## 2 理事会及び評議員会の開催

	評議員会	理事会
第1回 開催日時	5月28日 13:30~14:55	5月28日 17:00~18:15
開催場所	宝塚市障害者福祉センター	宝塚育成事業所
出席者数	16名 監事1名	10名 (内2名書面表決)
欠席者数	1名	0名
議題	平成24年度第3回補正予算 平成24年度事業報告 平成24年度決算認定	
第2回 開催日時	9月30日 15:00~16:17	9月30日 17:00~18:30
開催場所	宝塚市障害者福祉センター	宝塚育成事業所
出席者数	15名 監事1名	10名 (内2名書面表決)
欠席者数	2名	0名
議題	平成25年度第1回補正予算	
第3回 開催日時	1月22日 15:00~16:15	1月22日 17:30~19:10
開催場所	宝塚市障害者福祉センター	宝塚育成事業所
出席者数	15名 監事1名	9名 (内1名書面表決)
欠席者数	2名	1名
議題	役員を選任について	評議員を選任について 役員を選任 (理事長の互選)
	就業規則の改正 再雇用職員の就業規則の改正 定款の変更 平成25年度第2回補正予算	
第4回 開催日時	平成26年3月24日 15:00~17:10	平成26年3月24日 17:35~19:16
開催場所	宝塚市障害者福祉センター	宝塚育成事業所
出席者数	14名 監事1名	9名 (内2名書面表決)

欠席者数	3名	1名
議題	職員就業規則の改正 職員給与規程の改正 嘱託職員等の就業規則の改正 施設利用契約書、施設運営規程及び重要事項説明書の改正 平成26年度事業計画及び資金収支予算 事務局長の選任	
		評議員の選任について

### 3 理事・評議員の任期満了に伴う選任について

評議員の任期が平成24年2月21日～平成26年2月20日のため、改めて選任した結果、後藤 千奈美さん、津村 邦子さん2名に交替しました。

また、理事の任期が平成24年2月16日～平成26年2月15日のため、改めて選任した結果、全員を再任しました。

### 4 各種委員会開催状況

委員会名	主な内容	開催頻度
運営委員会	理事会議案、法人・施設の運営に係る重要事項について検討しました。 (人事配置、事業の展開、施設改修、新規施設設置、職員研修計画、中長期事業計画等)	月1回
業務改善委員会	各事業の評価、業務の改善について検討しました。 (ヒヤリ・ハット事例の検討、個人情報カードの作成、行方不明マニュアル、行方不明フェイスシートの作成、感染症マニュアルの作成、苦情受付処理対応等)	概ね月1回
短期入所連絡会	各施設毎の課題抽出検討、サービス提供の在り方検討等	概ね月1回
その他	プチフェスタ実行委員会	随時

5 年間事業

月	研修関係	防災・行事関係
4月	「バリアフリー展研修」職員2人、A型所員1人参加	
5月		・育成事業所消防避難訓練
6月	・「社会福祉援助基礎研修」2人参加 ・「虐待防止職員研修」20人参加 ・支援内容研修	・職員、育成事業所所員健康診断
7月	・「会計事務研修」2人参加 ・「会計事務通信講座」1人受講 ・「地域生活援助者養成講座」1人参加 ・「施設長研修」1人参加	
8月		
9月	・「地域生活援助者養成研修」1人参加 ・「会計事務研修」3人参加 ・「労務管理研修」1人参加	・ENJOYハウス避難訓練 ・育成事業所親睦旅行
10月	・「リスクマネジメント職員研修」22人参加 ・「近畿知的障害者福祉大会」1人参加 ・「安全衛生教育研修」1人参加 ・「防火管理者研修」1人参加	・育成事業所避難訓練
11月	・「感染症予防対策研修」2人参加 ・「消費税増税対応セミナー」1人参加	・職員、育成事業所所員インフルエンザ予防接種
12月	・「介護事業場労務管理研修」1人参加 ・「育成事業所感染症予防研修」32人参加	
1月	・社会福祉法人経営者協議会研修」理事長参加 ・「虐待防止・権利擁護研修」2人参加 ・「虐待未然防止研修」1人参加	
2月	・「会計事務基礎講座スクーリング」1人参加 ・「社会福祉法人研修」1人参加 ・「監事研修」1人参加 ・「職場内研修担当者研修」1人参加 ・「B型デザイナーネットワーク研修」1人参加 ・「防火管理者研修」1人参加	・プチフェスタ 180人参加 ・育成事業所地震対策避難訓練 ・ENJOYハウス試食会

3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「財務研修」1人参加</li> <li>・「退職手当共済制度研修」1人参加</li> <li>・「福祉施設中堅職員研修」1人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ENJOY ハウス避難訓練</li> <li>・安倉ホーム、つばさ、ケアホーム合同夜間避難訓練</li> </ul>
----	---	--

## 6 施設等の整備

名称	サービス区分	金額	内容等	その他
倉庫	宝塚育成事業所	7,056,000	新設、基本財産へ	就労会計設備等積立金取崩
小型スチームクリナー	〃	635,250	消毒、洗浄用	
高温 高压 洗浄機	〃	635,250	消毒、洗浄用	作業効率向上
門扉改修	〃	525,000		寄附金による対応
外壁改修	安倉ホーム	1,069,950	老朽更新	基本財産へ繰入れ

## 7 リスク管理

月日	育成事業所	ENJOY ハウス	日中一時	対応
4/4		送り漏れ		メンバー表掲示対応確認
7/26			ミッキー切傷	備品、施設の危険物再確認
9/11	行方不明			支援内容点検、ケース検討
11/5		薬飲み忘れ		薬カート 掲示、確認
12/25		無断外出		利用開始時の観察、注意を重点的に行う。
1/7		薬誤飲		分包にする。
2/5		行方不明		職員再討議、原因、対策協議、施設面、支援面検討
2/6		行方不明恐れ		受入れ体制再確認
2/9	行方不明			支援体制の見直し、利用

				者の行動予測
3/4			入浴中でのんかん発作	危険予知、危険性を見逃さない。

小さな事故が大きな事故につながりかねないリスクが10件発生しました。また、この件数の水面下には、数多くのヒヤリ・ハットが潜んでいることを職員一同が認識し、大丈夫という思い込みや過小評価による見過ごしをしないように原因と対応策を検討し、予防に取り組むようにしました。

また、それでも事故は発生するという観点にたち、リスクマネジメント研修を実施し、事前対応、事後対応を普段から意識しておく、職員同士のヒヤリ・ハットの情報共有など日常支援の中で危険予知感覚を磨いていくなどといった職員の意識向上を図りました。

特に、行方不明の恐れを含み5件の事故発生があり、その内警察対応に至った事故が1件あったことを受け止め、行方不明対応マニュアルとフェイスシートの作成に取り組んでいます。

### III 職員研修の充実

外部研修として、専門研修、経験年次別研修及び分野別研修等できるだけ多くの職員に研修機会を付与し、知識の獲得と問題意識の醸成に努める機会としました。

また、リスクマネジメント研修など職員（臨時職員を含む）全員が研修に参加する内部研修に取り組むとともに、宝塚育成事業所において、支援に課題を抱えるケースについて、スーパーバイザーの助言を受けて、利用者への対応策と職員の支援力の向上に努めました。

### IV その他

1 育成事業所の施設整備として450,000円のご寄附をいただき、門扉改修を行い、所員の娯楽用として30,000円のご寄附により、休憩時の図書を購入しました。また、利用者の娯楽用として安倉ホーム保護者会からブルーレコーダー、ENJOYハウス保護者会からカラオケセット、モニターテレビ等のご寄附をいただきました。

2 歳末助け合い助成金の配分を受け、一般社団法人宝塚市手をつなぐ育成会と共催し法人職員、利用者及び地域の方々と交流を行い、障害のある人の就労や本法人の事業について啓発を図ることを目的として、障害のある人たちの音楽等の発表や子どもから高齢者まで楽しんでいただける「プチフェスタ」としてバルーンアート、餅つきを開催しました。地域の子供達や障害のある方達も参加され、職員も一緒になごやかで楽しい時間を過ごすことができたとともに、少しではあるが啓発に寄与できたと思います。

開催日時：平成26年2月8日（土）11：00～13：00

開催場所：総合福祉センター

参加者数：180名

- 3 短期入所と日中一時事業を複合多機能で実施するための施設建設ができる土地の賃借について折衝を重ねましたが、条件に合致し成約するまでには至らず、引き続き探していきます。

また、事業展開のための概略の中長期計画を策定し、それに沿った事業展開を進めていきます。